

訓子府町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とされる世界的な気候変動は、深刻な自然災害をもたらしており、国内においても記録的な高温、集中豪雨や大型台風などによる甚大な被害が発生するなど、本町でも、町民生活に大きな影響をもたらしています。

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年に採択されたパリ協定では、「世界全体の平均気温の上昇を工業化以前に比べて2.0℃より十分低く保つとともに、1.5℃までに抑える努力を追及する」という世界共通の長期目標が掲げられました。

我が国では、2020年10月に2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を目指すことが宣言され、北海道においても、環境と経済・社会が調和しながら成長を続ける「ゼロカーボン北海道」の実現を目指すこととしています。

このような国内外の動向を踏まえ、訓子府町においても北海道や近隣自治体と連携・協力しながら、積極的に地球温暖化対策に取り組んでいく必要があります。

先人から受け継がれた美しく豊かな自然環境を未来の世代にしっかりと引き継いでいくため、町民の皆さん、事業者の皆さんとともに、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言します。

令和6年3月7日

訓子府町長 伊田 彰